



発田憲 Ken Hotta

所属

学校発達心理研究所

経歴（プロフィール）

カリフォルニア州立大学卒、他、アメリカ、日本の複数の大学、大学院において研究。博士前期課程修了。専門は、発達心理学領域。

- 学校発達心理研究所 代表・研究統括官
- 教育相談／発達支援 スーパーバイザー、公認心理師（文部科学省、厚生労働省共管 国家資格）

大学時代、視覚・聴覚伝達による対人関係心理の研究。理数領域では、小学校の教師のための算数を履修し、文章問題を立体造形化することによって、児童の理解を図る研究を発表。大学院では、子どもの発達の観点から、授業運動の重要性を唱え、分かりやすい授業の在り方を研究。また、幼児の芸術表現、アクティブリスニング（傾聴）、認知行動療法、検査法を学校カウンセリングの観点から研究。

実践研究者として、英国王立大学を始め、欧米、北欧の大学との共同研究・講義者、日本の大学での講義者、私立学校の管理職・顧問。文部科学省の研究事業委員。教育委員会の研究委員（学校精神保健委員、いじめ防止対策委員等）、教員研修講師として、校長研修、生徒指導・教育相談研修、養護教員研修、スクールカウンセラー・アドバイザー研修等を多数実施。

実践活動においては、3歳から15歳の発達を専門とし、幼稚園・小学校・中学校でのスーパーバイズを行う。机上の研究だけでなく、学校や園の現場に常に向き合い 幼児・児童・生徒、保護者、そして、教師とのかかわりを大切に一人一人の子どもの健全な発達・心理・教育の統合的支援を目指している。

その他の活動

大学時代までアメリカを中心にテニスの選手として活動。その後、©「Tennis it easy」プログラムを開発。テニスを通して子どもの発達を支援する活動を行う。

参考リンク：<http://webcatplus.nii.ac.jp/webcatplus/details/creator/121862.html>
<http://www.edde.jp/index.html>

